

2026年 新年のご挨拶 —会誌デジタル配信のご案内

一般社団法人 日本医療福祉設備協会
会長 中山 茂樹

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては良い年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、本年が皆様にとって心豊かな年となりますようお祈りいたします。

昨年の総会後に開催された臨時理事会(6月19日)で、前安原 洋会長の後任として会長(代表理事)に選出された中山茂樹です。歴代の会長に引き続きよろしくお願ひ申し上げます。また理事等役員も刷新し、新しい体制で協会運営を進めています。

昨年の協会活動の一端を報告いたします。第54回日本医療福祉設備学会は中田学会長、小林副学会長、宮崎副学会長のもと「レジリエントな医療福祉のために」を学会テーマとして2日間に23題の特別講演・シンポジウム・フォーラムが、また40題の一般演題が報告され、最新のトピックスの紹介と、加えて熱い議論が交わされました。また、2023年より開催している併設展示会にも17社にご参加いただき、充実した情報交換の場となりました。

同じく2023年より始まった国際モダンホスピタルショウにおける当協会の特別セミナーは「医療福祉施設のZEB達成へのアプローチ」をテーマに開催され、多くの病院人に省エネ+創エネの方向性を示すと同時に、当協会の存在をアピールすることもできました。なお、規格・指針委員会の中に同名の小委員会を立上げBEI値データの収集を開始しています。既にZEB Readyの認証を取得した事例もあるなど、環境問題に対する当協会の位置付けを鮮明にし、新しい技術展開につなげるスタートを切ることができました。

さらに、継続している「CHEホスピタルエンジニア認定制度」は、当協会の社会貢献の重要な活動のひとつですが、第14回目の指定講習会・試験を実施しました。病院運営には開院後の維持管理業務が重要です。認定ホスピタルエンジニアがこうした領域でますます重要な力を発揮していただけるものと確信しています。

会員サービスの一環として、施設見学会や研究・研修会を提供していますが、昨年も多数開催され、多くの会員の参加を得ました。実施にあたっては企画委員会(中田委員長)に多大なご尽力いただいていることをお知らせすると同時に、委員メンバーに感謝申し上げます。そのほかにも各委員会がさまざまな活動を遂行していただき、活発な協会活動が継続しています。

昨今の病院経営を取り巻く環境は非常に厳しいものがあり、多くの病院団体がSOSを発信しています。加えて建設費の高騰により、多くの医療施設プロジェクトが止まっています。これには多くの要因があるのだと思いますが、そもそもわが国の医療提供体制・診療報酬制度に構造的な問題をはらんでいるものと考えています。これは設備技術の課題というわけではありませんが、当協会も建築・設備という視点に立ちながら現状分析とそれに基づく意見表明をし、健全な医療施設の建設に向けた道筋を提案するべきだと思います。

当協会の特性は多種の会員から構成され、医療福祉施設の建築・設備、医療環境機器等を総合的に扱う稀有な団体として充実した活動を展開している点にあります。それらをさらに活性化し、また協会運営の円滑化を目的に、以下に示すような当協会の運営を大きく変革することにしました。これまでと異なる状況となることから、会員の皆様には一時的にはご不便をおかけするかもしれませんのが、ご協力いただき、また、さらなる改善のためのご意見も賜りたいと願います。会員の皆様におかれましては、本年も引き続き当協会活動へのご参加をお願いし、併せてご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

○ 会誌のデジタル配信への変更ご案内

当協会会誌「病院設備」は協会設立後6年を経過した1959年に第1号が刊行されて以来、昨年11月号(学会抄録集)で378号を数えるに至っています。会員の皆様へ最新かつ重要なトピックスをお届けするだけでなく、広く社会へも情報発信をしてまいりました。

さて、資源削減や環境負荷軽減の要請を受け、昨今では紙媒体の電子化が急速に進められています。これを睨み、本年1月号(379号)から会誌の紙媒体配布を原則廃止し、電子版(PDFファイル)で皆様にお届けすることになりました。一方、電子化の長所を生かし、すべてのページをカラー化すること、検索の利便性をはじめとする内容の充実を図ります。

会誌「病院設備」電子版は会員専用ページにて閲覧およびファイルのダウンロードができます。具体的な方法については、編集委員会からのお知らせをご覧ください。

なお、年間購読を申込まれている購読会員の方については、引き続き紙媒体での提供を継続します。

今後とも会誌「病院設備」をご愛読いただきますと同時に、編集に際しては多くの会員の皆様のご協力をお願いいたします。

○ 協会事務業務の外部委託について

かねてから、協会事務業務のあり方について理事会そのほかで議論が続いていました。協会経営を取り巻く環境が大変に厳しくなっていること、事務業務を担っていただける職員の継続的な雇用の難しさ、などから事務局業務を外部の専門家にお任せすることを検討してまいりました。この度、理事会での議論の末、2026年度から事務局業務を学協会の事務業務を専門に扱う会社に委託することになりました。

本年3月末で現在の事務局は閉鎖し、4月より事務業務を全面的に委託します。これにより、協会経営の健全化、業務の合理化・効率化を図り、事務業務をスリムにします。これに伴い、会員諸氏への通知、各種の手続き・申込などの簡素化を実施することとしており、会員の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力賜りますようお願いいたします。

具体的な変更点、手続きの刷新等については、メール・ホームページ等により逐次お知らせします。

重複しますが、この事務業務の合理化・効率化の目的の第一は、協会活動の円滑化、さらにより活性化することです。よろしくご理解のうえ、さらに当協会をよくご利用いただき、併せて協会運営に益々ご協力くださいますよう、お願いいたします。

2026年元旦

会誌「病院設備2026年1月号(抜粋)」(非会員の方もご覧いただけます)
[こちらをCtrlキーを押しながらクリック](#)

★会員専用 会誌「病院設備」アクセス方法は
[こちらを Ctrl キーを押しながらクリック](#)

ご不明な点等ございましたら、事務局までメールでお問い合わせください。
メールアドレス hc-setsubi0919@heaj.org